

早期アルツハイマー型認知症の検査と診断 「VSRAD」のご案内

平成19年7月より、当センターに早期アルツハイマー型認知症、診断支援システム
「VSRAD」Voxel-Based Specific Analysis System for Alzheimer's Diseaseが導入されました。

VSRADとは

VSRADは早期アルツハイマー型認知症(→以下AD)に特異的に見られる海馬傍回付近の萎縮の程度を健常者データベース(54歳~86歳男女80名)と比較して評価するソフトウェアです。

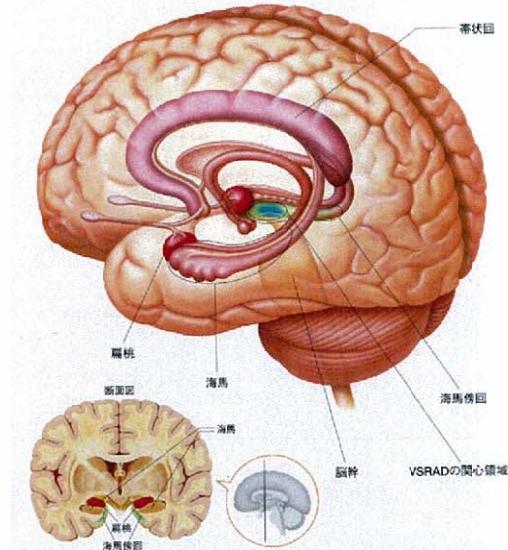
頭部MRI検査の際に特殊条件で撮影し、そのデータを解析評価することにより、これまで目視では難しかった早期AD診断の支援情報を提供することが可能となりました。

(ご依頼方法)VSRADをご希望のときは、MRIをお申し込みの際に認知症の検査あるいはVSRADといっていただき、さらに検査目的の欄にその旨をお書き添え願います。

下記のレポートを無料でお付けいたします。

(注意事項)

- ① 現状では50歳以上の方が対象となっています。
- ② 本ソフトウェアは脳MRI画像から脳の萎縮の度合いを評価するもので、本結果のみでアルツハイマー型認知症(痴呆)の診断をすることは出来ません。
アルツハイマー型認知症(痴呆)診断の基本は「診断と経過」です。
画像診断は補助診断であり、臨床情報をもとにした総合的な診断が必要となります。
- ③ 前駆期を含むADにおいて健常高齢者との比較では80%以上の正診率となることが確認されていますが、逆に偽陰性、偽陽性は合わせて20%程度あります。
- ④ 脳梗塞の存在、体動によるアーチファクト、その他の理由により、解析結果が正しく表示されない場合があります。



サンプルレポート

VSRAD解析結果レポート

患者ID:	撮影日:	年齢:	性別:
名前:	生年月日:		
【2コマ検査結果(自動算出)】			
基礎学年検査:			
海馬傍回の萎縮の程度			
基準値: 1. 海馬傍回の萎縮はほとんど見られない 2. 海馬傍回の萎縮がやや見られる 3. 海馬傍回の萎縮がややみられる 4. 海馬傍回の萎縮が多い			
そのうち学年検査(参考): (1) 海馬傍回の萎縮している領域の割合 (アーチファクトを除く部位の割合) % (2) 海馬傍回の萎縮している領域の割合 (アーチファクトを除く部位の割合) % (3) 海馬傍回の萎縮の全体を含む部位の比較 (健常全体の要件を満たす場合) %			
評価: 評定: コメント:			
【解剖検査の参考表示】 健常全体における萎縮の程度をご確認下さい。これ以上が高年に萎縮している領域です。(この色で示された領域が基準値です) 青色:健常範囲内の軽度下限値 赤色:健常範囲内の軽度上限値 黄色:健常範囲内の中間値			
【Axial(横断面)】 健常時に表示されているMRI画像は標準版であり、健常者画像ではありません。			

